

宮崎県主催の「宮崎県防災の日フェア」に出展

～自宅等をハザードマップで確認いただいたうえで、地震保険の重要性を啓発～

日本損害保険協会九州・沖縄支部宮崎損保会(会長：太田垣 大将 東京海上日動火災保険株式会社 宮崎支店長)は、5月25日(日)に宮崎市内の商業施設で開催された宮崎県危機管理局主催の「備えを始めるなら今！ 宮崎県防災の日フェア」に出展しました。

本フェアは、「楽しみながら防災の知識や考え方を身につけられる！」をテーマに開催されました。

宮崎県沿岸部では南海トラフ地震により津波被害を受ける可能性が高いことから、地震リスクへの経済的な備えに関する理解をより一層深めていただくため、地震保険制度等を説明しました。

また、津波ハザードマップでご自宅等の場所を確認してもらい、津波浸水の想定される区域にご自宅等がある方に対しては津波リスクを説明しました。合わせて、逃げる方向や避難場所の事前確認、早期避難の重要性などを説明しました。

参加者からは、「家に帰ったら地震保険に加入しているか確認してみる」や、「津波が来た際の避難経路を確認してみる」といった声がありました。

宮崎損保会では、今後も行政や関係団体と連携し、自然災害リスクを的確に認識いただき、地震や風水害に備える保険等に関して普及・啓発活動を行っていきます。



説明の様子



出展したブース



会場の様子



説明に用いたチラシ等